

準備も釣りもシンプルに!

ビックリするほど単純な仕掛けでも、
しっかり釣れるのがミヤク釣りのいいところ。
むずかしいことは考えずに、どんどん探っていきましょう。



1 エサを付けます。ハリ全体がエサの中に隠れるようにすると、エサ持ちがぐんとアップします。



糸が余分に出てしまうとアタリがわかりにくくなるから注意

糸を出して仕掛けを沈めます。底に着いたら余分な糸が出ないように止めることが大切です。



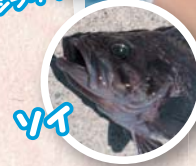
3 **ココもココもポイント!**
竿を上下にゆっくりと動かして誘います。魚のいるポイントなら、エサにバクッと食いついてきます。

根魚は口がおっきいから持ちやすい!



4 **ヨシッ!**
アタリがあったら、すかさず仕掛けを上げればこの通り。ハリや背びれに注意してキャッチしましょう。

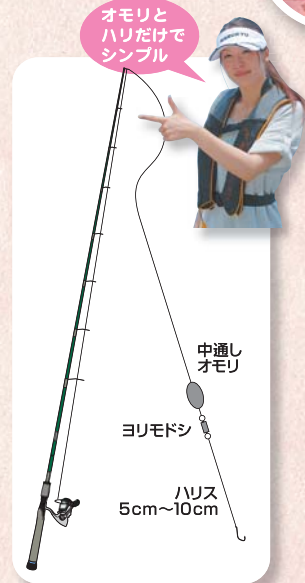
探った回数と釣れる数は比例するから、軽いフットワークで釣っていきこう!



ミヤク釣り

探れば探るほど
ミヤクあり!

足元をシンプルな仕掛けでコンパクトに。スローガンのようですが、これこそミヤク釣りの基本。つまりは難しいことは考えずに気軽に楽しめるのが、ミヤク釣りの魅力です。
そんなライトな釣り方に付き合ってくれる相手は根魚たち。カサゴ、メバル、ソイなどの障害物を好む魚が釣れちゃいます。なんだか料理の「煮付け」を連想させる魚たちですね。
では、釣りでも食でもオイシイ思いをするための仕



掛けについて。岩などの障害物まわりを探るため、引っかかりにくい仕掛けが必須。ウキを使わず、オモリとハリだけのシンプルなおモリに。
次にエサ。魚の切り身や虫エサのほか、ハリに刺しやすいうきアミやアミエビなども効果的。マルキユの「くわせオキアミアジS」や「堤防族(アミ)」は実績充分なのでオススメです。
準備ができたならレッツゴー! さっそく、堤防際や消波ブロック、岩の隙間などに仕掛けを入れて底まで落としましょう。「えっ」と思うような浅い場所でも釣れたりもするので、どんどん探っていきましょう。

おすすめアイテム

ハリ付けしやすく便利
●堤防族(アミ) 50g (くわせエサ)



食わせる力が抜群
●くわせオキアミアジS 60g (くわせエサ)



2つに分かれるダブルパックでとっても便利!!